

会 誌

第四十七号

平成27年12月

大阪市立大学大学院医学研究科
分子病態薬理学教室 同窓会

齢をとったら

山本 研二郎

「トシをとったら」というタイトルで雑文を書き始めたが、なにか以前に書いたような気がする。重複するわけにはいけないので、探してみると、冷楽会誌の16号昭和59年にこのタイトルで雑文を書いていた。文末の節を紹介すると「トシをとったらというのは、みんなうそだ。私はトシをとるのが下手で、枯れるのも下手、一振入魂、ドライブコンテスト（ゴルフコンペで飛距離を競うこと）のささやかな賞品に満腔のよろこびを味わっている。アホやなど云われるゆえんである」

30年以上も前にトシをとったらと想像していたが、いまや本当トシをとった。脳と体と両方共である。まずよく忘れる。朝刊を読むとき、今日は何月、何日、何曜日ということをよくかみしめる。しかし一日のうち何回か確かめないとまぎらわしい。現役の間は、連日スケジュールが決まっているので、無意識のうちに何日何曜日と理解しているが、毎日家でブラブラしていると、3日も4日も同じような時間が経過して行くので、区別がつけにくい、新聞とカレンダーが頼りになる。

親しい人から電話がかかってくる。10分15分と楽しく雑談していると、電話を切ったあとで用件は何やったかなと頼りない。電話のそばにメモがないと、つついっそのまになって、後から約束の日時など再確認の電話をする。寢床に入ってから、北海道から沖縄までの県名をあげたり、イギリスから順次東へ国の名前（アフリカ、中東は除いて）をあげたりしていると、まだ大丈夫かなと思いながら何時の間にか眠ってしまう。

数年前から読売文化センターの油絵教室に通っている。第二、第四水曜日1時から3時半までで、勿論老人ばかり。男5人女5人、私がわずかな差で最高齢、女性の先生は一人ずば抜けて若く40才そこそこ。今年は「八条ヶ池」「月下美人」を一応完成、現在描いているのは南ドイツのノイシュバンシュタイン城。8号の「月下美人」を玄関の靴箱の上に飾ってあるが、来客の誰一人として注目してくれないのが不満である。

トシをとったら友人がなくなってゆくのが淋しい。トシをとったら電車で席をゆずってくれるのが嬉しい。有難うという反面、え、そんなに老人にみえるのかと内心想っている。もっと素直によるこばなくてはならない。

岩尾 洋

四天王寺大学にお世話になり約1年9か月が過ぎました。可もなく不可もなく続いております。最初の一年は良く分からないことが多々ありましたが、2年目になると状況も少しは分かりスムーズに行くことが多くなりました。2学期制で週5コマの授業を行い、週1回仏教の授業に出て学生を指導(?)することがDutyで、週に1日の研究日を設けることができます。2学期制で今の時期は冬学期です。1月の末に定期試験があり、その後長い春休みになる予定ですが、意外と会議とか入学試験が多くあり、思ったほど暇ではありません。

現在、教育学部保健教育コースに所属して養護教諭の養成に携わっております。昨年は現役での養護教諭の合格者数はゼロで、関係する教員は大きなショックを受けました。今年は現役合格者が出て「ほっと」しています。大阪府・大阪市・堺市の養護教諭の新規採用は20～30名（小学校教諭は3～4倍）で、競争倍率は10倍以上の狭き門です。現役で合格を果たせなかった人は、講師登録をして経験を積みながら翌年の採用試験に備えます。この様な経験者が受験するので、ますます現役で合格するのは至難の業です。現場の小中学校を訪れて、教育実習中の学生の授業参観する機会が多くあり、大阪府、兵庫県、京都府、滋賀県、奈良県、和歌山県、石川県の学校にと訪問に訪れました。子供が好きで学校の先生になりたいと4年間勉強して、養護教諭実習3週間、保健教育実習3週間、小学校教育実習4週間の多くの実習もこなし頑張る生徒を見ていると何とかしてやりたいと思います。小中学校の教育現場を実際に参観すると小中学校の先生になりたいと「良く言うよ」と思うくらい忙しく、色々の生徒がいて、医学部の大学生のように一律一様では無いことが実感できます。この子供たち一人一人に対応し、さらにその保護者にまで対応することが求められる時代です。「私はまっぴらごめんです。」と言うより「私には出来ません」。学生たちは本当に子どもたちが好きなんだと感じました。この若者たちがいなければ日本の教育は成り立たないと思いますし、まぶしく感じられます。

彼らの希望が叶うように大学は手取り足取りで学生をサポートしています。サポートを上手に利用している学生もいますが、多くの学生は上手く利用してくれません。狭き門を潜るためにどのように準備をすればよいか分からないようです。携帯電話を使い情報をサクサク取れるのに、何故か自分の将来成りたい職業の情報をとるのが下手なようです。更に夢を叶えるために計画を立て準備することは、もっと苦手なようです。学生の多くが大学受験をガチで経験していない学生が多い為なのかもしれません。4年生のゼミの男子学生が、夏ま

で単位も落とさず、教育実習もこなし、いよいよ小学校の教諭を目指し 8 月に教員採用試験を受ける直前に、「私は教員になるのを止めて、アパレルの店に就職します」と突然言われ、ビックリしましたが「それも良かろう」と賛成しました。そして数カ月後に「就職は決まりましたか。」と聞くと、「就職は止めました」との返事です。「え！なぜ？」と問うと「韓国に語学留学することにしました」。ますます訳が分からず事情を聞きました。初めは韓国人の彼女がいたので韓国語を勉強したようですが、別れてからも韓国語に興味があり独学して検定試験を受けパスしました。「すごいね!」と言うと、「私、初めて自分の意思でやりたいことをして頑張り、試験にパスしました。中学、高校も、大学受験も推薦のところを選び、ずっと何となく生きてきました」。「自分のやりたいことに挑戦してみたいのです。入社したい米国アパレル企業で、日本よりずっと活気のある韓国店で働きたいのです」と話してくれました。普通の卒業する学生の進路とは全く異なる生き方を選んだ彼が、眩しく感じられ、頑張れよ!と応援したくなります。この大学に来て色々の学生と接することができ、刺激をもらって楽しくやっております。

御礼

泉 康雄

言葉と言うのはとても素晴らしいことですが、この年齢になっても、大阪弁ですら、まだまだうまく使いこなせません。私は外来診療を行っていますが、一人の患者さんと接する時間は数分、短い人は数十秒のこともあります。その中でも貴重な情報が得られることもありますし、ちょっとした失言で怒られることもあります。なるべく専門用語は使わないようにしていますが、理解してもらえないことも多々あります。

先日、愚息（小5）の問題集を見ていますと、いろんなことわざが出題されていました。私が申し上げるまでもなく、ことわざというのは、短いフレーズにきっちりとした意味を含んでおり、とても有用な使い方ができると思います。残念ながら、私は日常会話でことわざをうまく使いこなせるだけの教養を持ちあわせておりません。座右の銘は…という話を聞くこともありましたので、座右の銘にしたいことわざをググってみました。

1位：継続は力なり、 2位：情けは人の為ならず、 3位：命に過ぎたる宝なし、

4位：聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥、

5位：石の上にも三年、

6位：思い立ったが吉日、

7位：急がば回れ、

8位：怒りは敵と思え、

9位：為せば成る、為さねば成らぬ何事も、

10位：弘法筆を拭ばず、

となっていました。どれも有名ですので、説明するまでもありません。ちなみに、「人間万事塞翁が馬」は惜しくもトップ10から漏れて11位でした。

座右の銘を持っておく必要があるかどうかはわかりません。私自身、これと言った座右の銘を持っていたわけではありません。座右の銘とは、「常に自分の心に留めておいて、戒めや励ましとする言葉」と書かれています。私には心に留めておかなければいけないことが多すぎて、どれか一つに決めることは不可能です。強いて言えば、「人事を尽くして天命を待つ」（ランク外でした）でしょうか。あらん限りに力を尽くして天命に任せるべきですが、あらん限りの力を尽くすことなど、そうそうできるものではありません。競走馬は第4（最終）コーナーを回る頃からジョッキーにムチを入れられることが多いようですが、サラブレッドといえども、スタート直後からムチを入れられては途中でバテてしまうと思います（競馬をしない方、すいません。ちなみに私も馬券を買ったことはありません）。常に全力で生きておられる方は沢山おられるとは思いますが、私にはそのような生き方はできません。「愛のムチ」を入れられた時は”そこそこ全力”で走りますが、少し疲れてくるとペースダウンして、”それなりの力”で走ってきたように思います。

私が人生を振り返るなど早すぎるとお叱りを受けそうですが、これまでの人生で、

”そこそこ全力”を尽くしたと思えるのは、医師として働きだした研修医時代、薬理学にお世話になった大学院生時代、くらいかもしれません。ですので、”そこそこ全力”を尽くしていた時代のことを、後になって否定されるのは耐え難いことです。私自身は他人の事を評価できるような立派な人間でもありませんが、これまでの人生を悔いてはいません。他人に批評を気にして立ち止まるようなことはあってはいけないと思っています。水戸黄門の主題歌じゃないですが、「人生楽ありゃ苦もあるさ」です（若い方には古すぎますね）。

何が幸せかをゆっくり考えたことなどほとんどなかったのですが、年齢を重ねるにつれ、また、仕事がうまくいかなかったり苦しい状況に立たされたりするようなこともあり、「幸せ」について少し考えるようになりました。そうした中で、「人間万事塞翁が馬」ということわざに惹かれました。一寸先は闇とも言いますが、闇の中を手探りで進んで明かりを見つけるのも「幸せ」ではないかと思います。勿論、「明かり」を見つけるためには、少なくとも”それなりの力”（時には”全力”）を尽くさなくてはならないと思っています。

私は研修医として2年間勤務した後、薬理学に4年（大学院生）、民間病院の循環器内科医として1年少々、大学の循環器内科医として約1年、薬理学の助手として3年半、米国留学2年、留学から帰国して薬理学に約8年半在籍しています。一応の社会人となつてからの約3/4を薬理でお世話になってきました。岩尾先生をはじめとする多くの先生方・同僚・後輩に育てていただきましたことに、改めて心より感謝申し上げます。

多くの皆様に支えて頂いております当薬理学教室も、新年度からは新教授の下、新たなスタートを切ることになります。この伝統ある薬理学教室がますます繁栄していきますことを祈念し、私も新たな道を進んでいきたいと思っています。

お世話になった皆様へ

修士2年 櫻井 絵未

三浦先生

普段お話しする機会は少ないのですが、お会いした時にはいつも優しい笑顔で話しかけて下さり嬉しかったです。セミナーでは多くのご指摘、アドバイスを下さり、大変勉強になりました。ありがとうございました。

泉先生

不器用でたくさんご迷惑をおかけしてしまう不器用な私にも泉先生はいつも優しくご指導下さり、心から感謝しています。実験で結果が出ず落ち込んでいた時には励まして私に前を向かせて下さいました。また学会発表の際には多くの時間を割いて下さり、本当にありがとうございました。何度もくじけそうになりましたが、熱心なご指導に報いたいという思いでなんとか頑張ることができました。卒業まであと数か月間、どうぞ宜しくお願いします。

岡先生

お忙しい中でも時間を作っていつも懇切にご指導下さり大変感謝しております。研究はもちろん、研究以外のお話も聞かせて下さったおかげで考え方が広がり、以前とは違った視点で物事を捉えられるようになったことが何度もありました。明るく前向きな岡先生から今までに多くの良い影響をいただきました。本当にありがとうございました。

塩田先生

セミナーなどでたくさんの的確なアドバイスを下さり、ありがとうございました。また、仕事に対する姿勢や周りへの気遣いなど、社会人として働く上で大切な多くのことを塩田先生から学ばせていただきました。学んだことをこれから活かしていきたいと思います。

田中先生

研究のことだけでなく就活についてもアドバイスを下さるなど大変お世話になり、ありがとうございました。時に優しく、時に厳しくご指導下さり、自分を見つめ直し改めるきっかけを下さいました。田中先生のように、自分の仕事をきっちりこなしつつ、周りに目を配り優しくできる女性になりたいです。

高橋さん

セミナーで質問をして下さったり、実験のアドバイスをして下さったりとお世話になりました。薬剤部のお仕事で忙しくても時間を縫って研究に打ち込まれている姿を見て、私ももっと頑張らなければ、とパワーをもらっていました。

北先生

真剣な表情で論文を読まれたり他の先生方と熱心にディスカッションをされている北先生の姿から、いつも良い刺激を戴いています。北先生のように、誰に対しても優しく丁寧に接することができる人に私もなりたいです。

壁井先生

明るくて場を楽しい雰囲気にして下さる壁井先生。ポジティブな壁井先生からいつも元気を戴いています。何事も前向きに捉えて進んでいくところを見習わせて下さい。

藤田さん

限られた時間の中でいつもテキパキとお仕事とご家庭を両立されていて本当にすごいなと思っています。藤田さんのように、忙しくても笑顔を忘れない人になりたいです。

渡邊さん

入学当初から、明るい性格のわっちには本当に助けてもらっています。実験や就活がうまくいなくて辛い時も、わっちがいてくれたから今まで頑張ってきた。いつも本当にありがとう。卒業まであと少し、一緒にがんばろう。

大塚さん

落ち着いていてほんわかした雰囲気を持ちながら、テキパキと実験を進めていてすごいなと思っています。私は大学の時、研究室に後輩がいなかったのも、明るく優しい大塚さんが後輩で入ってきてくれて本当に嬉しいです。薬理に来てくれてありがとう。

薬理学教室に来てから、楽しいことも嬉しいこともたくさんありましたが、自分自身の至らなさを痛感せずにいられず辛い日々もありました。未熟な私が今までやってこられたのは、本当に薬理の皆様のお蔭です。これまでの人生の

中で一番、多くの人に支えて頂いているということを実感した 2 年間だったと思います。薬理学教室で過ごした日々は私にとって大切な時間となりました。この場を借りて、皆様に感謝申し上げます。今まで本当にありがとうございました。

2年間ありがとうございました。

修士2年 渡邊 綾乃

大学生の頃と比べ、大学院生の2年間はあっというまでした。しかし、大学生の頃とは違い、大学院生は1日1日が濃密で、自分自身の日々の成長を実感できる2年間でした。「研究」の「け」の字もわからなかった私に、様々な人から丁寧に指導していただいたので、今では少しは「研究」ができていると思っています。さらに、先生方には研究のことだけではなく、社会に出てから必要な知識、振る舞い等様々なことを教えていただきました。友達にも「大学生の頃とは変わったね。」と言われることも多く、よくも悪くも成長しているのだと感じています。この2年間で学んだことを生かし、4月から社会人としてがんばりたいと思います。

☆お世話になった先生方への感謝の言葉を書かせていただきました。

三浦先生。様々なご指導ご鞭撻ありがとうございました。三浦先生に暖かく見守っていただけたので、この2年間を無事に終えることができました。薬効で先生とお話しするのが大変楽しかったです。

泉先生。循環薬理のことを全くわからない私に対して1から10まで丁寧に指導していただきありがとうございました。同期の櫻井さんとは違い、努力しないし、適当なので大変手のかかる学生だったと思います。それでも、最後まで粘り強くご指導していただけて大変感謝しています。ありがとうございました。

塩田先生。様々な相談に乗っていただきありがとうございました。就職活動は先生の的確なアドバイスのおかげで上手くいったと思っています。笑いにストイックな塩田先生とお話しするのは大変おもしろかったです。

岡先生。いつも優しく声をかけていただきありがとうございました。岡先生がいらっしやると教室の雰囲気明るくなり、岡先生がいらっしやる日が楽しみでした。岡先生のような素敵な女性になれるようにがんばります。

田中先生。研究のことから、プライベートのことまで様々なご指導ご鞭撻ありがとうございました。田中先生から学ぶことはとても多く、これからの私の生き方に影響を与えることが多かったです。

高橋さん。ご指導ご鞭撻ありがとうございました。高橋さんの向上心の高さは大変尊敬していました。高橋さんのこれからのご活躍をお祈りいたします。

櫻井さん。毎日、いろいろと気にかけてくれてありがとう。性格が正反対なので、お互いにいろいろと思うこともあったと思うけど、櫻井さんがいなかったらこの2年間を終えることができなかったと思います。本当にありがとう。

大塚さん。待ちに待っていた可愛い可愛い後輩ちゃん。落ち着いていて、物事に動じない姿が印象的で、私もそういう風になれたらなと思っていました。就職活動や研究など悔いのないようにがんばってね。

藤田さん。いつも優しく話しかけてくださってありがとうございました。藤田さんがいらっしゃる日は安心して実験に取り組めるので実験がはかどりました。

この2年間は私の人生の中でも宝物になりました。薬理学で研究できて良かったです。本当にありがとうございました。

新入生紹介

修士1年 大塚 明日香

初めまして。今年の4月より薬理学教室でお世話になっている、修士1年の大塚明日香です。

出身大学は武庫川女子大学の薬学部で、卒業研究では乳がん悪性化におけるトランスポーターの役割についての研究をしていました。そこで初めて「研究」というものに携わって、未知の事物を一から解明していくことの難しさや面白さを知り、もっと研究がしたい！専門的な知識を身につけたい！と強く思うようになり、大学院への進学を決意しました。その際、薬学の知識を生かしつつ、がん分野をもっと究めたいと思ったことに加え、研究室訪問の時に丁寧な対応をして頂いたことと、教室の雰囲気に着かれたため、この薬理学教室を志望しました。

入学当初は、同期もおらず新たな環境にただただ戸惑うことばかりでしたが、今ではすっかりこの生活にも慣れ、充実した毎日を過ごしています。また、実験の手技も知識も初めて学ぶことがほとんどでしたが、先生や先輩方のご指導のおかげで少しずつではありますが、知識も技術も身に付いてきたように思います。

その他、社会人としての常識やマナーなど実験以外でも学ぶことが多く、いつまでも学生気分で他人任せにしていけないと、自立した大人になれるように努めたいと思います。

薬理は他に比べると人数としては少ないものの、そうは感じないくらい一人一人に活気があり、研究に対する熱意も人一倍という感じで、そんな人たちがばかりに囲まれていることが新鮮であり、良い刺激になっているように思い、そのような恵まれた環境で研究できることに感謝しています。

入学前からいろいろとご迷惑をおかけし、皆様のお世話になりっぱなしですが、マイペースながらこれからも日々邁進していきたいと思いますので、どうぞ今後とも宜しくお願いいたします。

2015 年学会発表

第 88 回日本薬理学会年会、3 月 18-20 日、愛知

- ・ レニン・アンジオテンシン系研究と心血管病（特別講演）

岩尾 洋

- ・ エクソソームを介した心血管疾患制御（シンポジウム）

泉 康雄、山口 雄大、岡 真優子、塩田 正之、田中 昌子、三浦 克之、岩尾 洋

- ・ Stromal cell-derived factor 2 は oxaliplatin 耐性に寄与する

高橋 克之、田中 昌子、塩田 正之、泉 康雄、三浦 克之、岩尾 洋

- ・ 四肢の虚血コンディショニングはエクソソームを介した情報伝達によって心リモデリングを抑制する

山口 雄大、葭山 稔、塩田 正之、田中 昌子、三浦 克之、岩尾 洋、泉 康雄

- ・ 低血清・低酸素耐性膵癌細胞におけるゲムシタビン感受性の評価

市坪 大将、田中 昌子、高橋 克之、泉 康雄、塩田 正之、岩尾 洋、三浦 克之

- ・ 紅蓼エキスによる好塩基球の p70S6 キナーゼ阻害と抗アレルギー作用

岡 真優子、平井 沙也花、南山 幸子、寒川 慶一、岩尾 洋、泉 康雄

第 79 回日本循環器学会学術集会、4 月 24-26 日、大阪

- ・ Percutaneous Treatment of Carbon Dioxide Mist Attenuates the Right Ventricular Remodeling due to Monocrotaline-Induced Pulmonary Hypertension.

Takehiro Yamaguchi, Yasukatsu Izumi, Takanori Yamazaki, Soichi Sano, Yasuhiro Nakamura, Kenei Shimada, Minoru Yoshiyama

- ・ Serum Brain-Derived Neurotrophic Factor Level at Discharge Predicts the Prognosis in Patients with Heart Failure.

Atsushi Shibata, Yasukatsu Izumi, Akihisa Hanatani, Ryoko Kitada, Shoichi Ehara, Masahiko Takagi, Takeshi Hozumi, Kenei Shimada,

Minoru Yoshiyama

- Serum Irisin Level Increase in Short-Term Rehabilitation during Hospitalization Predicts the Prognosis in Patients with Heart Failure.
Atsushi Shibata, Yasukatsu Izumi, Akihisa Hanatani, Ryoko Kitada, Kenichi Sugioka, Shoichi Ehara, Masahiko Takagi, Takeshi Hozumi, Kenei Shimada, Minoru Yoshiyama

- Crosstalk between O-GlcNAcylation and Phosphorylation Regulates Autophagy in Diabetes Mellitus and OGT-Tg Mice Exposed to Intermittent Hypoxia.

Atsuo Nomura, Ryuji Kato, Yoshio Ijiri, Takehiro Yamaguchi, Yasukatsu Izumi, Minoru Yoshiyama, Michio Asahi, Tetsuya Hayashi

第 1 回国際心血管薬物療法学会日本部会、6 月 20-21 日、京都

- Gp130 サイトカインと心血管病

藤尾慈、前田真貴子、朝倉正紀、中谷大作、泉康雄、葭山稔

第 127 回日本薬理学会近畿部会、6 月 20 日、岐阜

- DPP-4 阻害薬 Linagliptin の GLP-1 非依存的な心保護作用

渡邊綾乃、山口 雄大、岡 真優子、田中 昌子、塩田 正之、岩尾 洋、三浦 克之、泉 康雄

- ゲムシタビン耐性ヒト膵癌細胞株における生存因子の同定

田中 昌子、高橋 克之、泉 康雄、三浦 克之、塩田 正之

European Society of Hypertension/International Society of Hypertension
2015 in London, UK

- Percutaneous treatment of carbon dioxide mist attenuates the development of right ventricular dysfunction in monocrotaline-induced pulmonary hypertensive rats.

Takehiro Yamaguchi, Yasukatsu Izumi, Takanori Yamazaki, Yasuhiro Nakamura, Kenei Shimada, Minoru Yoshiyama, Hiroshi Iwao

- Cardioprotective effects of dipeptidyl peptidase-4 (DPP-4) inhibitors independently of DPP-4.

Takehiro Yamaguchi, Yasukatsu Izumi, Takanori Yamazaki, Yasuhiro Nakamura, Kenei Shimada, Minoru Yoshiyama, Hiroshi Iwao

- Delayed overexpression of vascular endothelial growth factor in the right ventricular myocardium accelerates irreversible cardiac remodeling in pulmonary arterial hypertension.

E Woo, S Hosako, J Kawakami, R Kato, Y Ijiri, T Yamaguchi, Y Izumi, M Yoshiyama, T katsumata, T Hayashi

第 74 回日本癌学会学術総会、10 月 8-10 日、愛知

- Protection of SDF-2 by Hsp72 prevents oxaliplatin-induced cell death in oxaliplatin-resistant human gastric cancer cells

Katsuyuki Takahashi, Masako Tanaka, Masayuki Shiota

第 38 回日本高血圧学会総会、10 月 9-11 日、愛媛

- 肺高血圧による右室モデリングに対する炭酸ガスミストの有効性

泉 康雄、山崎 貴紀、中村 泰浩、岩尾 洋

第 128 回日本薬理学会近畿部会、11 月 20 日、大阪

- 高血圧ラットの血中エキソソームは内皮細胞の炎症を惹起する

櫻井 絵未、岡 真優子、田中 昌子、山口 雄大、塩田 正之、岩尾 洋、三浦 克之、泉 康雄

(櫻井絵未：学生優秀発表賞受賞)

第 25 回日本循環薬理学会、12 月 4 日、奈良

- DPP-4 阻害薬の DPP-4 非依存的な心保護作用

泉 康雄、山口 雄大、渡邊 綾乃、田中 昌子、岡 真優子、塩田 正之、岩尾 洋、三浦 克之

第 36 回日本臨床薬理学会学術総会、12 月 9-11 日、東京

・血小板減少症治療薬 IL-1 から心筋保護薬 IL-11 へ ～ドラッグ・リポジショニングにおけるアカデミアのこころ

前田 真貴子、藤尾 慈、大和田 康子、藤井 比佐子、大門 貴志、中谷 大作、朝倉 正紀、泉 康雄、葭山 稔

2015 年 原著論文

1. Izumi Y, Yamaguchi T, Yamazaki T, Yamashita N, Nakamura Y, Shiota M, Tanaka M, Sano S, Osada-Oka M, Shimada K, Wanibuchi H, Miura K, Yoshiyama M, Iwao H. Percutaneous carbon dioxide treatment using a gas mist generator enhances collateral blood flow of ischemic hindlimb. *J Arterioscler Thromb* 127: 474-480, 2015.
2. Yamaguchi T, Izumi Y, Nakamura Y, Yamazaki T, Shiota M, Sano S, Tanaka M, Osada-Oka M, Shimada K, Miura K, Yoshiyama M, Iwao H. Repeated remote ischemic conditioning attenuates left ventricular remodeling via exosome-mediated intercellular communication on chronic heart failure after myocardial infarction. *Int J Cardiol* 178: 239-246, 2015.
3. Tateishi Y, Osada-Oka M, Tanaka M, Shiota M, Izumi Y, Ishimura E, Motoyama K, Inaba M, Miura K. Myeloid HIF-1 attenuates the progression of renal fibrosis in murine obstructive nephropathy. *J Pharmacol Sci* 127: 181-189, 2015.
4. Yamaguchi T, Yamazaki T, Nakamura Y, Shiota M, Shimada K, Miura K, Iwao H, Yoshiyama M, Izumi Y. Percutaneous carbon dioxide mist treatment has protective effects in experimental myocardial infarction. *J Pharmacol Sci* 127: 474-480, 2015.
5. Yamaguchi T, Izumi Y, Yamazaki T, Nakamura Y, Sano S, Shiota M, Miura K, Iwao H, Yoshiyama M. Percutaneous carbon dioxide treatment using a gas mist generator attenuates the development of right ventricular dysfunction in monocrotaline-induced pulmonary hypertensive rats. *Osaka City Med J* 61: 31-41, 2015.
6. Kobuchi S., Miura K, Iwao H, Ayajiki K. Nitric oxide modulation of endothelium-derived hyperpolarizing factor in agonist-induced depressor responses in anesthetized rats. *Eur J Pharmacol* 762: 26-34, 2015.

今年の出来事

3 月

- ・循環器内科の山口雄大先生が大学院博士課程を修了、医学博士を取得されました。
- ・市坪大将君が大学院修士課程を修了し、(株)新日本科学に就職されました。今後の活躍を期待しています。
- ・秘書の土屋夕紀子さんがご主人の転勤に伴って退職されました。

4 月

- ・大学院修士課程に、武庫川女子大学薬学部出身の大塚明日香さんが入学されました。
- ・藤田（中尾）明子さんが秘書として着任（復帰）されました。よろしくお願いします。

10 月

- ・泌尿器病態学所属の壁井和也先生が学位取得の基礎研究のために出向してこられました。
- ・山口雄大先生が新潟大学医学部細菌学教室へ異動されました。新天地での活躍を祈念しています。

11 月

- ・大学院修士課程の櫻井絵未さんが第 128 回日本薬理学会近畿部会で学生優秀発表賞を受賞されました。おめでとうございます。